

# 平成27年度 緑ヶ丘中学校学校評価

前年度からの課題：①教育目標やスローガンを浸透させる ②道徳教育の体系化 ③図書館教育の充実 ④授業力の向上

※ 今年度の重点目標：全教職員の共通理解のもと、「魅力ある学校づくり」を推進する。

- ① 安全で開かれた学校を目指す。
- ② 「確かな学力」を育成する。
- ③ 自尊感情や自己有用感の向上
- ④ 健康でたくましい心身を育成する。

学校を「学びの場」とする

【来年度に残された課題】

- ※ 教育目標やスローガンの浸透
- ※ 道徳教育の体系化
- ※ 図書室来室者数の増加
- ※ 不登校傾向の生徒や心に課題を抱えた生徒への生徒指導

生徒や保護者へのアンケート結果、職員総括会議にもとづく自己評価、さらには学校関係者評価をとりまとめた表である。

※ 《アンケートデータ》 生徒：1, 2年生(361人) 保護者：1, 2年生(263人) 教職員：31人 (肯定的 前年度 → 今年度)

項目	○重点目標	生徒アンケート結果	保護者アンケート結果	成果と課題	課題の改善策等	○学校関係者評価
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>※「確かな学力の育成」を目指した取組を通年で実施する</li> <li>○ 授業時数の確保、基礎基本の定着</li> <li>○ わかる授業、魅力ある授業づくり(授業研究・研修の充実)</li> <li>○ GTの積極的な活用</li> <li>○ 家庭学習のための課題研究</li> <li>○ 読書習慣の形成(図書館来館者数増加を目指した取組)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ わかりやすい授業が多い(肯定的63%→78%)</li> <li>※ 授業における学習のポイントがいつも明確である(肯定的64%→73%)</li> <li>※ 授業中、発言や発表をよくする(肯定的33%→34%)</li> <li>※ 授業において、自主的な学習活動をした(肯定的69%→74%)</li> <li>※ 勉強の仕方がわかっている(肯定的52%→51%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 子どもは授業内容について興味関心を示し、授業内容についても理解している(肯定的55%→63%)</li> <li>※ 学校は、子どもの学力や達成度がよくわかる的確な評価を行っている(肯定的79%→81%)</li> <li>※ 子どもは、家庭でよく学習している(肯定的42%→47%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 英語科において、授業公開と研究協議を実施した。</li> <li>※ 授業時数に関して、1・2学年は概ね確保した。</li> <li>※ 少人数授業の実施、学びのサポーターの活用及び放課後学習の実施等、個に応じた指導の充実が図れた。</li> <li>※ 生徒・保護者アンケートの結果から授業研究の成果が出ている。</li> <li>※ 機器の積極的な活用(理科・英語・国語・保体・美術)やGTの活用は達成することができた。</li> <li>※ 図書室への来室数が期待するほど伸びていない現状である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 他の教科でも授業公開と研究協議を実施できるよう計画する。</li> <li>※ 授業力の向上が教師力の向上に繋がることを一層周知し、研修部で授業公開と研究協議の系統的な実施計画を作成する。</li> <li>※ 機器(特にプロジェクター)の使用頻度が高く、機器が不足している。その改善を図る。</li> <li>※ 授業や総合的な学習の時間等において、積極的な図書室の活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 調べ物をパソコンするなど、活字離れが進んでいるので、本を好きにするには、ビブリオバトルはよいきっかけになると思う。</li> <li>※ プレゼン力、活用力をつけることが必要である。</li> <li>※ 朝日新聞に小説の元本が連載されている。改めて読むと、新鮮で、興味がわく。中学生にも勧めたい。</li> </ul>
	人間性豊かな生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>※「自尊感情&amp;自己有用感の向上」を目指した取組を通年で実施する</li> <li>○ 規範意識の向上</li> <li>○ 心の教育の推進</li> <li>○ コミュニケーション能力の育成</li> <li>○ 道徳の時間の体系的な取組</li> <li>○ ともに高め合う集団づくり</li> <li>○ 文化祭、音楽会、体育大会等の充実、体験活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 先生は、努力したことを認め、褒めてくれる(肯定的49%→66%)</li> <li>※ 先生は、質問や意見をよく聞いてくれる(肯定的66%→78%)</li> <li>※ 地域や学校で、よく挨拶をするよう心がけている(肯定的77%→83%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 子どもに、地域や学校で挨拶をするよう指導している(肯定的84%→88%)</li> <li>※ 学校は、子どもに間違った行動があれば、適切に指導してくれる(肯定的86%→89%)</li> <li>※ 学校は、子どもをよく理解し、悩みや相談について適切に関わってくれる(肯定的76%→81%)</li> <li>※ 子どもは、学校での様々な活動や学校行事に積極的である(肯定的74%&amp;88%→82%&amp;92%)</li> <li>※ 学校は、子どもたちに人権や命の大切さを育む教育を行っている(肯定的82%→83%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 挨拶や基本的生活習慣の形成は、部活指導や朝の校門指導等から、今年度大幅な改善傾向が見られた。</li> <li>※ 道徳教育において、体系的で系統的な取組ができなかった。</li> <li>※ 学校行事への取組は満足できる結果となった。</li> <li>※ 不登校傾向の生徒が相変わらず多い(特に第2学年)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 道徳教育の充実やこころの教育の推進に、道徳教育推進教員が中心となって系統化を図る。</li> <li>※ 不登校傾向の生徒が多いので、カウンセラー等関係機関との連携を一層強化する。</li> </ul>
健康で逞しい心身の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>※「健康でたくましい心身の育成」を目指した取組を通年で実施する</li> <li>○ 部活動の充実</li> <li>○ 体力向上への取組の充実</li> <li>○ 食育指導の充実</li> <li>○ 健康で安全な生活を営む生活習慣の確立</li> <li>○ 生徒指導、教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校での様々な活動や学校行事に積極的である(肯定的68%&amp;83%→76&amp;86%)</li> <li>※ 清掃活動に熱心に取り組んでいる(肯定的73%→78%)</li> <li>※ 災害発生時に、どのように行動したらよいかわかっている(肯定的84%→80%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 子どもは、学校での様々な活動や学校行事に積極的である(肯定的74%&amp;88%→82%&amp;92%)</li> <li>※ 学校は、様々な教育活動を通して、危険や災害から、子どもが自ら身を守るよう安全指導に努めている(肯定的85%→86%)</li> <li>※ 学校は、部活動等でスポーツを通じて子どもの心身を育てる教育を行っている(肯定的89%→88%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 部活動は充実している。本校教育の中核を担っているともいえる。</li> <li>※ 生徒指導主事・学年主任等のリーダーシップのもと生徒指導・教育相談は機能している。</li> <li>※ 地域・関係機関との連携も構築できている。</li> <li>※ 保健体育授業の充実を含め、学校生活全般で体力向上に取り組めた。</li> <li>※ 健康で安全な生活習慣を確立させることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 部活指導者の人材育成を図る。</li> <li>※ 生徒指導&amp;教育相談活動における教職員間の情報共有と暗黙知の継承を一層図る。</li> </ul>
	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>※「安全で開かれた学校」を目指した取組を通年で実施する</li> <li>○ 有機的なネットワーク組織の構築</li> <li>○ 教師力の向上</li> <li>○ 家庭・地域との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校の教育目標やスローガンをよく知っている(肯定的41%→43%)</li> <li>※ 家庭において、学校での出来事や生活の様子などをよく話している(肯定的71%→75%)</li> <li>※ 「学校が楽しい」と思える(肯定的69%→81%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校の教育目標やスローガンをよく知っている(肯定的37%→38%)</li> <li>※ 学校は、便り等を通じて教育方針や生徒の活動状況をわかりやすく伝えている(肯定的80%→84%)</li> <li>※ 学校は、家庭や地域との連携をきめ細かく行っている(肯定的72%→75%)</li> <li>※ 学校は、保護者や地域住民の声に耳を傾け、その信頼や期待及び願いに応えようとしている(肯定的78%→78%)</li> <li>※ 子どもは、「学校が楽しい」と感じている(肯定的82%→86%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 生徒&amp;保護者アンケート結果から、本校教育に対する評価が向上している。</li> <li>※ 中核教員によるミドルアップダウンの指導力の発揮、若手教員の人材育成、さらには組織力の向上において、当初の目標は達成することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 教育目標やスローガン等を具体的にわかりやすく提示する。</li> <li>※ 開かれた学校づくりを目指して、一層の情報公開に努める。</li> </ul>